

光の「染み」が空間を超え、青山の街に浸透

## 第9回 SICF グランプリ

# 藤井秀全「Stain “Outward”」展開催

2008年10月25日(土)～10月28日(火) ショウケース(スパイラル 1F)

Spiral Press Release  
August 2008



この度、スパイラル／株式会社ワコールアートセンターは、2008年5月に開催した第9回 SICF(スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル)のグランプリ受賞者、藤井秀全(ふじいひでまさ)の展覧会を10月25日(土)から10月28日(火)までスパイラル 1F ショウケースで開催する運びとなりました。

## 触れることのできない光の存在を感じさせる確かな表現力を評価

藤井秀全がSICFに出品した「Stain」は、LEDを用い、まるで布目に染みわたる水のように、光が空間に広がる様を視覚化した作品です。この作品は、「Stain (染み)」という名の通り、画面から滲み出た光の「染み」が私たち鑑賞者に浸透し、まさしく光と一体になるかのような感覚を呼び起こします。これは、私たちに絶えず降り注ぐ、光の動きや、その働きかけを視覚を通じて再体験させる試みでもあります。

藤井はこれまでも、私たちの周りに確かに存在しながら、その存在や動きを認識することが難しい「光」「空気」「時間」などを、身体感覚を通じて体験できる形に変換する実験的な作品制作に挑んできました。

SICF では、白い空間に浮かびあがる繊細な光の視覚的な美しさとともに、光が空間や見る者の心に及ぼす影響までも体験させる新しい表現として、高い評価が集まりました。



photo: Katsuhiko Ichikawa

### 藤井秀全 第9回 SICF 出展作品

左:「Stain #5 (mesh)」 h900mm×w900mm×d50mm  
中:「Stain #6 (mesh)」 h1000mm×w1000mm×d50mm  
右:「Stain #7 (mesh)」 h700mm×w700mm×d50mm

発光ダイオード、アクリルケース、ミクストメディア

## 「Stain」シリーズ過去最大サイズの新作に挑戦

本展では、SICFでグランプリを受賞した「Stain」と、同作品を制作する思考経過として生まれた写真作品「Trace」、偏光板を通過した光がセロテープを多彩な色に染める立体作品「Color」など、光をテーマにした作品を展示します。特に、「Stain」では過去最大規模の1800mm×1800mmの新作に挑みます。この巨大な光の「染み」は、スパイラルの青山通りに面した壁面を飾り、展示空間を超えて道をゆく人々、そして青山の街にも浸透します。

展覧会名にもある「Outward」とは「外へ向かって」の意味です。本展覧会で藤井が放つ瑞々しい光は、自らの表現を社会に向けて発信しようとする藤井のメッセージでもあるのです。

この件に関するお問い合わせ先

広報担当:加藤、清水

スパイラル／株式会社ワコールアートセンター

〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23

TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848

E-mail press@spiral.co.jp

### ◆SICF とは

スパイラルが次世代のカルチャーシーンの担い手を発掘する目的で、2000年にスタートした公募展形式のアートイベントです。第9回 SICF は、2008年5月2日から5日まで、スパイラルホールで開催し、自由な完成で質の高い創作活動を行うクリエイター100組にプレゼンテーションの場を提供しました。

## 藤井秀全(ふじい ひでまさ)



photo: Katsuhiko Ichikawa

『光の染み』という言葉から制作しています。光が画面上で広がり、混じり合いながら「染み」のように像を成し、それは画面を超え空間に浸透していきます。光という非物質が、形を作り、身体や空間に接触する感覚や浸透していく時間を感じ取れるような表現を目指しています。

今回の展覧会では、ショウケースが大通りに面していることから、『光の染み』が空間を超え、通りに、そして道行く人に浸透していくイメージで制作したいと考えています。光が画面上で混じり合うように、作品が街と、道行く人と混じり合うという関わりが持てればと思います。「外へ向けて」光を放つことは、これから自分の表現を社会へ向けて発信していこうとする行為と重なるように感じています。

### Profile

1984年 奈良生まれ  
2007年 京都造形芸術大学 芸術学部 美術工芸学科 卒業  
同大学大学院 芸術研究科 芸術表現専攻 入学

#### 主な出展

2005年 町家の宿 あずきやにて 雑貨&Cafe 臨時開店 (あずきや/京都)  
2006年 ひろしまナイト美術大賞展 (新地ギャラリー/広島)  
2007年 第2回大黒屋現代アート公募展 (大黒屋サロン/栃木)  
アートオークション「A-CTION/アクション」 (ギャラリー・オーブ/京都)  
京都造形芸術大学大学院 open studio (京都造形芸術大学 未来館/京都)  
2008年 SPURT 2008 京都造形芸術大学大学院修士課程中間報告展 (ギャラリー・オーブ/京都)  
第9回SICF (スパイラルホール/東京)

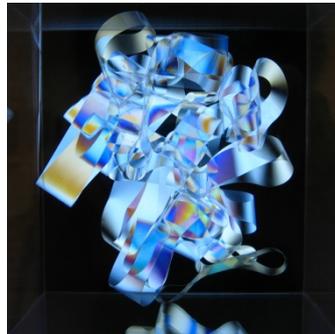
#### 主な受賞歴

2008年 SPURT 2008 京都造形芸術大学大学院修士課程中間報告展 最優秀賞  
第9回SICFグランプリ  
2008年度 京都造形芸術大学大学院 特待生 採用  
2007年 第2回大黒屋現代アート公募展 入選、お客様賞  
2006年 京都造形芸術大学奨励制度 選抜  
第14回ひろしまナイト美術大賞 大賞

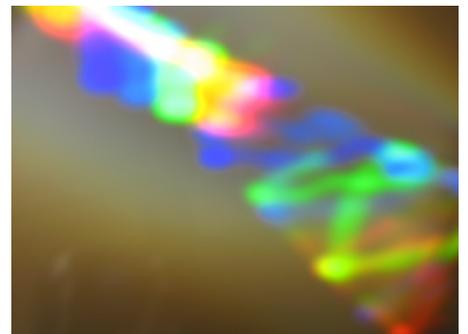
### 過去の作品



Stain #1 - 4  
each h910mm × w910mm × d55mm  
発光ダイオード アクリルケース  
ミクストメディア  
2007年



Color #10  
h105mm × w105mm × d87mm  
偏光板 セロハンテープ  
ミクストメディア  
2008年



Trace #1  
h450mm × w600mm  
インクジェットプリント  
2008年

## 藤井秀全作品に寄せる審査員のコメント(50音順・敬称略)

### 浅井 隆 (アップリンク主宰)

その美しい光は、甲殻機動隊の冒頭にみることのできる都市の光のように見え、また、宇宙船の中で育つエレクトリック・プランツの葉脈のようにも見える。

### 佐藤 尊彦(株式会社ビームス 商品本部 メンズ統括部 係長)

表現者と科学者の思考についてここで述べる気はありませんが、表現の為の素材はテクノロジーの進歩の後には存在できません。しかもテクノロジーの進歩は、人間の都合と需要でしか最終的な市民権を得られないのです。しかし、表現者はその独自の思考により、テクノロジーを超越した感覚を私達にもたらししてくれます。彼はテクノロジーの枠の中で、現代をデザインしているように感じました。

この作品の持つ「美しさ」とインテリア性を高く評価し、グランプリに推薦した事を覚えています。10月の新作展示では、「目に見えないものの可視化」に挑む藤井さんの、更にセンス溢れるアプローチに期待したいと思います。

### ハワード・リクター(NIKE, Inc. 東京デザインスタジオ クリエイティブ ディレクター)

藤井の作品は、テクノロジーと感性が見事に調和している。象徴的で美しく、何より人の心をつかむ魅力がある。「光」と「色」という二つの要素を巧みに使って生み出される彼の作品からは、深みと物語性を感じる。

### 岡田 勉(スパイラル チーフキュレーター)

グランプリを受賞した藤井秀全の作品は、見る人を誘惑するように発光する作品の美しさと、技術的な探究心、そして今後の可能性が高く評価された。藤井は本作品の制作に当たり、自分自身でLEDを改造し、光源の照射角度を120度まで広げ、魅惑的に輝く作品を仕上げた。「光」はアートの存在理由であるし、希望や夢を象徴するエレメントである。グランプリ展でさらに発展した伸び盛りのクリエイションに期待したい。

## 開催概要

タイトル	第9回 SICF グランプリ 藤井秀全「Stain “Outward”」展	主催	株式会社ワコールアートセンター
会期	2008年10月25日(土)～10月28日(火) 11:00～20:00 無休 ※24日(金)に招待者のみのオープニングパーティを開催	企画制作	スパイラル
会場	ショウケース (スパイラル1F)		
お問い合わせ	03-3498-1171 (スパイラル代表)		

### 第10回 SICF 参加クリエイター募集日程が決定!

来年度、2009年5月2日(土)～5月5日(火)に開催する、第10回 SICF 参加クリエイターの募集日程が決定いたしました。美術、デザイン、ファッション、音楽、映像、CGなどあらゆるジャンルの表現から、次代のカルチャーシーンを担う作品を広く募集いたします。

- ◆募集要項配布開始 2008年10月25日(土)
- ◆公募期間 2008年12月1日(月)～2009年2月28日(土) ※最終日必着
- ※第10回 SICF 開催日程 2009年5月2日(土)～5月5日(火)